

-----6月4日-----

※今週のアウトルック(6/4～6/8)

先週は全般的に円高が進みましたが、金曜日の米国雇用統計の期待外れの結果により、ドルに対しても円高要因が増えた形で週末を迎えています。

今週も円の独歩高傾向がますます強まってしまう状況となりそうな様子です。

ドル円は先週金曜日の雇用統計が期待外れの結果となり、ドル売りが進みやすい状況となっています。ドル円も79円のサポートラインを割り込み、78円も一時的に割ってきていることから、76円あたりまで円高が進む可能性が強くなったように思います。

ただ、ここからは円売り介入警戒感が強くなり、要人発言に敏感になりそうです。一時的な大きな買い戻しが入ることは、十分にあるように思います。。

ドル円の予想レンジは76円から79円です。

ユーロはチャート的には下げ止まりの兆しを見せていますが、これはドル売り勢力が強くなった影響が強いように思います。

ユーロ単体としては、まだまだ売りあびせ状況が改善としたと言える状況にはなっていないように思います。ギリシャ状況もさることながら、スペイン国債の状況も予断を許さない状況で、しばらくは自律反発程度のユーロ高しか期待できないように思います。

ユーロ円の予想レンジは92円から99円です。

ポンド円は120円を割って週末を迎えています。このことから、今週中に一度117円付近まで到達する可能性が強くなったように思います。

ポンド円の予想レンジは117円から122円です。

今週も円高状況に大きな変化はないように思います。ただ、円売り介入にはかなり敏感となりそうなので、政府要人発言には十分注意する必要があるように思います。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。